

◆ 取扱説明書 ◆

このたびはMDX-1000をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。
正しくご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。お読みになられた後
も大切に保存してください。保証書が第4面についています。

ご使用になる前に

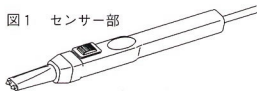
○本品はセンサー部に設置されました二極間の抵抗値を測定し、暫定的に水分値として表示されるように設計されています。

水分表示値は絶対的ではありません。あくまでも電気抵抗値と相対的に表示しておりますので、試料の中に導電性（塩分・金属等）の物質が含まれている場合には実際の水分値とは差が生じますが、測定物の含有物質の割合が均一で少量（水分値にそれほど影響を与えない範囲）でしたら本器の設定により、比較検査等にご使用することができます。

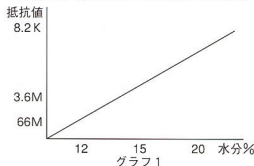
MDX-1000の全レンジ（A/1/2/3/4/5）は、出荷時には、グラフ1のように初期設定されております。このままでも大抵の場合ご使用になることはできますが、よりいっそう絶対乾燥法による値に近づけるために、ユーザーズレンジ（1/2/3/4/5）を設けてあります。

お客様が水分表示値を設定する場合をお読みください。

図1 センサー部



●表示する水分値と抵抗値の関係



各部の名称



本体

◀表示部

◀操作部

◀めん類用
スリット

センサー部

◀測定スイッチ

◀電極

MDX-1000の使い方

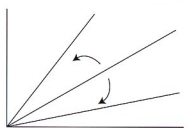
- センサー部が、十分に綺麗になっているかどうか確認してください。汚れている場合は、センサー部を乾いた布で良く清掃してください。
- 「測定」ボタンを押し、「L」表示が出ることを確認してください。
- 「選択」ボタンで測定するレンジ（A12345）にカーソル「▲」を合わせてください。
- センサー先端部を、測定物にあててください。このときセンサー電極部2点が均一に同じ圧力になるように注意してください。
- センサー部の「測定」ボタンを押してください。または本体側の「測定」ボタンでも同様に測定を開始します。
- より正確に測定値を求める場合には、何度か測定を繰り返し、「平均」ボタンを押して平均値を求めてください。
- 使用後はセンサー部を、十分に清掃してください。
- 電源は1分後に自動で切れます。

注：1. 測定物の温度とMDXの温度を、出来るだけ同じにしてから測定してください。MDX本体と測定物の温度に差があると、測定値に誤差が生じます。

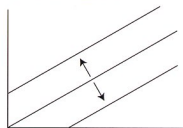
2. 柔らかい測定物は、センサーをあてる圧力や深さを測定毎に一定にしてください。

お客様が水分表示値を設定する場合

MDX-1000にはユーザーズレンジとして5ポジション作成できるよう設計されております。「A」レンジも変更はできますが、なるべく工場出荷時のままご使用ください。



傾き変更 (A)



平行移動 (H)

注：変更中には電源が自動で切れません。そのままにしておくと電池が消耗してしまいます。必ず「変更/決定」ボタンを押して、この作業を終了してください。

●傾き変更

1. 「選択」ボタンを押して、設定を変更したいレンジを選択します。
2. 「変更/決定」ボタンを押します。右上の表示が「A」になり、表示部には「100」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「100」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、0～199迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、再度「変更/決定」ボタンを押してください。（平行移動を変更しない場合。続けて変更を行う場合には、そのまま以下の作業に進んでください）

●平行移動

1. 傾き変更の表示のままで、「機能」ボタン（普段は測定ボタン）を押します。右上の表示が「H」になり、表示部には「0.0」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「0.0」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
2. 「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、-19.9～+19.9迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、「変更/決定」ボタンを押してください。再度、傾きを変更したい場合には、「機能」ボタンを押すと、傾き変更作業に移行できます。
4. 変更前に測定を行って、測定値が表示されていた場合には、変更後の値によって再計算された水分値が表示されます。

測定上のご注意

- センサーに当てて不安定な粉状や粒状のものは測定できません。
- センサーを押しつける圧力により、測定値が変わりますので、測定毎の圧力を極力一定にしてください。
- MDX-1000本体で温度補正を行っておりますので、測定温度範囲内の温度であれば、測定値の温度換算は不要です。ですが、非測定物とMDX本体の間で温度差があると測定誤差を生じますので、出来るだけ測定物とMDX本体を同じ温度にしてから測定してください。

取扱い上の注意

- 本製品は測定機器ですので強い衝撃を与えたり、分解しないでください。
- 本製品は防水ではありませんので本体、センサー部とも水洗いしないでください。
- 測定終了後は必ずセンサー部を柔らかい布等で拭いてください。感知部が汚れますと、センサーの感度が鈍くなり、誤差の原因になります。

仕様

名称：水分はかってみませんか

形式：MDX-1000

測定方法：電気抵抗式

表示：3-1/2桁LCD

測定範囲：9.0～%40.0%（工場出荷時に於いて。但しユーザーが設定を変更した場合9%以下も表示可能）

測定温度：5℃～40℃（但し結露しないこと）

使用電源：006P 9V 1コ

機能：平均値表示 温度自動補正

OGA
ELECTRIC CO.LTD

株式会社 オガ電子

〒328-0062 栃木県栃木市泉川町97-1

TEL 0282-22-2203(代)

◆ 取扱説明書 ◆

このたびはMDX-1000をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。
正しくご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。お読みになられた後
も大切に保存してください。保証書が第4面についています。

ご使用になる前に

○本品はセンサー部に設置されました二極間の抵抗値を測定し、暫定的に水分値として表示されるように設計されています。

水分表示値は絶対的ではありません。あくまでも電気抵抗値と相対的に表示しておりますので、試料の中に導電性（塩分・金属等）の物質が含まれている場合には実際の水分値とは差が生じますが、測定物の含有物質の割合が均一で少量（水分値にそれほど影響を与えない範囲）でしたら本器の設定により、比較検査等にご使用することができます。

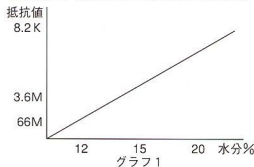
MDX-1000の全レンジ（A/1/2/3/4/5）は、出荷時には、グラフ1のように初期設定されております。このままでも大抵の場合ご使用になることはできますが、よりいっそう絶対乾燥法による値に近づけるために、ユーザーズレンジ（1/2/3/4/5）を設けてあります。

お客様が水分表示値を設定する場合をお読みください。

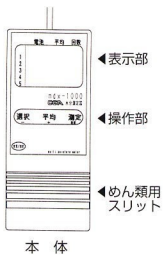
図1



●表示する水分値と抵抗値の関係



各部の名称



MDX-1000の使い方

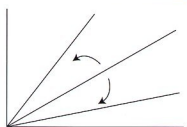
- センサー部が、充分に綺麗になっているかどうか確認してください。汚れている場合は、センサー部を乾いた布で良く清掃してください。
- 「測定」ボタンを押し、「L」表示が出ることを確認してください。
- 「選択」ボタンで測定するレンジ（A12345）にカーソル「▲」を合わせてください。
- センサー先端部を、測定物にあててください。このときセンサー電極部2点が均一に同じ圧力になるように注意してください。
- 本体の「測定」ボタンを押してください。
- より正確に測定値を求める場合には、何度か測定を繰り返し、「平均」ボタンを押して平均値を求めてください。
- 使用後はセンサー部を、充分に清掃してください。
- 電源は1分後に自動で切れます。

注：1. 測定物の温度とMDXの温度を、出来るだけ同じにしてから測定してください。MDX本体と測定物の温度に差があると、測定値に誤差が生じます。

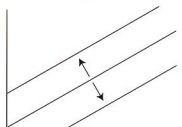
2. 柔らかい測定物は、センサーをあてる圧力や深さを測定毎に一定にしてください。

お客様が水分表示値を設定する場合

MDX-1000にはユーザーズレンジとして5ポジション作成できるよう設計されております。「A」レンジも変更はできますが、なるべく工場出荷時のままご使用ください。



傾き変更 (A)



平行移動 (H)

注：変更中には電源が自動で切れません。そのままにしておくと電池が消耗してしまいます。必ず「変更/決定」ボタンを押して、この作業を終了してください。

●傾き変更

1. 「選択」ボタンを押して、設定を変更したいレンジを選択します。
2. 「変更/決定」ボタンを押します。右上の表示が「A」になり、表示部には「100」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「100」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、0～199迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、再度「変更/決定」ボタンを押してください。（平行移動を変更しない場合。続けて変更を行う場合には、そのまま以下の作業に進んでください）

●平行移動

1. 傾き変更の表示のまま、「機能」ボタン（普段は測定ボタン）を押します。右上の表示が「H」になり、表示部には「0.0」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「0.0」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
2. 「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、-19.9～+19.9迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、「変更/決定」ボタンを押してください。再度、傾きを変更したい場合には、「機能」ボタンを押すと、傾き変更作業に移行できます。
4. 変更前に測定を行って、測定値が表示されていた場合には、変更後の値によって再計算された水分値が表示されます。

測定上のご注意

- センサーに当てて不安定な粉状や粒状のものは測定できません。
- センサーを押しつける圧力により、測定値が変わりますので、測定毎の圧力を極力一定にしてください。
- MDX-1000本体で温度補正を行っておりますので、測定温度範囲内の温度であれば、測定値の温度換算は不要です。ですが、非測定物とMDX本体の間で温度差があると測定誤差を生じますので、出来るだけ測定物とMDX本体を同じ温度にしてから測定してください。

取扱い上の注意

- 本製品は測定機器ですので強い衝撃を与えたり、分解しないでください。
- 本製品は防水ではありませんので本体、センサー部とも水洗いしないでください。
- 測定終了後は必ずセンサー部を柔らかい布等で拭いてください。感知部が汚れますと、センサーの感度が鈍くなり、誤差の原因になります。

仕様

名称：水分はかってみませんか

形式：MDX-1000

測定方法：電気抵抗式

表示：3-1/2桁LCD

測定範囲：9.0～%40.0%（工場出荷時に於いて。但しユーザーが設定を変更した場合9%以下も表示可能）

測定温度：5℃～40℃（但し結露しないこと）

使用電源：006P 9V 1コ

機能：平均値表示 温度自動補正

OGA
ELECTRIC CO.LTD

株式会社 オガ電子

〒328-0062 栃木県栃木市泉川町97-1

TEL 0282-22-2203(代)

◆ 取扱説明書 ◆

このたびはMDX-1000をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。
正しくご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。お読みになられた後
も大切に保存してください。保証書が第4面についています。

ご使用になる前に

○本品はセンサー部に設置されました二極間の抵抗値を測定し、暫定的に水分値として表示されるように設計されています。

水分表示値は絶対的ではありません。あくまでも電気抵抗値と相対的に表示しておりますので、試料の中に導電性（塩分・金属等）の物質が含まれている場合には実際の水分値とは差が生じますが、測定物の含有物質の割合が均一で少量（水分値にそれほど影響を与えない範囲）でしたら本器の設定により、比較検査等にご使用することができます。

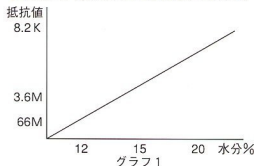
MDX-1000の全レンジ（A/1/2/3/4/5）は、出荷時には、グラフ1のように初期設定されております。このままでも大抵の場合ご使用になることはできますが、よりいっそう絶対乾燥法による値に近づけるために、ユーザーズレンジ（1/2/3/4/5）を設けてあります。

お客様が水分表示値を設定する場合をお読みください。

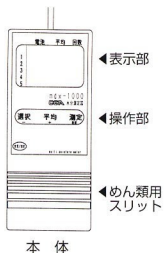
図1 センサー部



●表示する水分値と抵抗値の関係



各部の名称



センサー部

MDX-1000の使い方

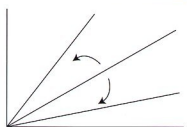
- センサー部が、充分に綺麗になっているかどうか確認してください。汚れている場合は、センサー部を乾いた布で良く清掃してください。
- 「測定」ボタンを押し、「L」表示が出ることを確認してください。
- 「選択」ボタンで測定するレンジ（A12345）にカーソル「▲」を合わせてください。
- センサー先端部を、測定物にあててください。このときセンサー電極部2点が均一に同じ圧力になるように注意してください。
- 本体の「測定」ボタンを押してください。
- より正確に測定値を求める場合には、何度か測定を繰り返し、「平均」ボタンを押して平均値を求めてください。
- 使用後はセンサー部を、充分に清掃してください。
- 電源は1分後に自動で切れます。

注：1. 測定物の温度とMDXの温度を、出来るだけ同じにしてから測定してください。MDX本体と測定物の温度に差があると、測定値に誤差が生じます。

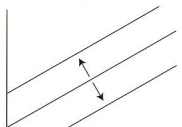
2. 柔らかい測定物は、センサーをあてる圧力や深さを測定毎に一定にしてください。

お客様が水分表示値を設定する場合

MDX-1000にはユーザーズレンジとして5ポジション作成できるよう設計されております。「A」レンジも変更はできますが、なるべく工場出荷時のままご使用ください。



傾き変更 (A)



平行移動 (H)

注：変更中には電源が自動で切れません。そのままにしておくと電池が消耗してしまいます。必ず「変更/決定」ボタンを押して、この作業を終了してください。

●傾き変更

1. 「選択」ボタンを押して、設定を変更したいレンジを選択します。
2. 「変更/決定」ボタンを押します。右上の表示が「A」になり、表示部には「100」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「100」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、0～199迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、再度「変更/決定」ボタンを押してください。（平行移動を変更しない場合。続けて変更を行う場合には、そのまま以下の作業に進んでください）

●平行移動

1. 傾き変更の表示のまま、「機能」ボタン（普段は測定ボタン）を押します。右上の表示が「H」になり、表示部には「0.0」が表示されます。工場出荷時には全レンジを「0.0」に設定しておりますが、以前設定を変更された場合には、その数字が表示されます。
2. 「-」ボタン（普段は選択ボタン）で、値を下げられます。
「+」ボタン（普段は平均ボタン）で、値を上げられます。
可変範囲は、-19.9～+19.9迄、値を変えられます。大きく値を変更する場合には、「+」か「-」ボタンを、1秒以上押し続けると、連続して設定値が進みます。
3. 設定が完了したら、「変更/決定」ボタンを押してください。再度、傾きを変更したい場合には、「機能」ボタンを押すと、傾き変更作業に移行できます。
4. 変更前に測定を行って、測定値が表示されていた場合には、変更後の値によって再計算された水分値が表示されます。

測定上のご注意

- センサーに当てて不安定な粉状や粒状のものは測定できません。
- センサーを押しつける圧力により、測定値が変わりますので、測定毎の圧力を極力一定にしてください。
- MDX-1000本体で温度補正を行っておりますので、測定温度範囲内の温度であれば、測定値の温度換算は不要です。ですが、非測定物とMDX本体の間で温度差があると測定誤差を生じますので、出来るだけ測定物とMDX本体を同じ温度にしてから測定してください。

取扱い上の注意

- 本製品は測定機器ですので強い衝撃を与えたり、分解しないでください。
- 本製品は防水ではありませんので本体、センサー部とも水洗いしないでください。
- 測定終了後は必ずセンサー部を柔らかい布等で拭いてください。感知部が汚れますと、センサーの感度が鈍くなり、誤差の原因になります。

仕様

名称：水分はかってみませんか

形式：MDX-1000

測定方法：電気抵抗式

表示：3-1/2桁LCD

測定範囲：9.0～%40.0%（工場出荷時に於いて。但しユーザーが設定を変更した場合9%以下も表示可能）

測定温度：5℃～40℃（但し結露しないこと）

使用電源：006P 9V 1コ

機能：平均値表示 温度自動補正

OGA
ELECTRIC CO.LTD

株式会社 オガ電子

〒328-0062 栃木県栃木市泉川町97-1

TEL 0282-22-2203(代)